

議事録（概要版）			
件 名	生物多様性なら戦略 第4回改定委員会	記録者	エヌエス環境株式会社
月 日	令和5年1月13日（金）		
時 間	13:00～15:20	形 式	委員会
場 所	アクティ奈良スタンダードルーム		
出席者	希少野生動植物保護専門員	前田 喜四雄（哺乳類） 元吉 司（鳥類） 井上 龍一（両生・爬虫類） 細谷 和海（魚類） 宮武 頼夫（昆虫） 尾上 聖子（植物） 丸山 健一郎（菌類）	
	生物多様性飛鳥地域保全活動推進協議会	木村 史明（橿原市昆虫館副統括）	
	奈良県 景観・自然環境課	吉浦 慎治（課長） 福井 靖典（課長補佐） 山原 美奈（係長） 有山 麻衣子（主査）	
	エヌエス環境株式会社	鈴木 拓哉（管理技術者） 川瀬 誉博（担当技術者） 胡 奈美（営業担当者）	
	傍聴者	1名	
議 事 次 第			
1. 奈良県挨拶			
2. 令和4年度 生物多様性なら戦略 第4回改定委員会 出席者報告			
3. 会議の公開・非公開について			
4. 次期生物多様性なら戦略素案について			
5. 奈良県希少野生動植物ニセツクシアザミの取り扱いについて			
6. その他連絡事項			

1. 議論「会議の公開・非公開について」

項目	概要
会議の公開・非公開について	・生物多様性なら戦略の素案は、議論内容に非公開とすべき点が存在しないため公開とする。 ・奈良県希少野生動植物ニセツクシアザミの取り扱いについては、希少野生動植物の生息地情報を含んでいるため、保護の観点から非公開とする。

2. 議論「次期生物多様性なら戦略素案について」

項目	概要
今後の修正について	・今回の意見を参考にして素案をアップデートし、奈良県自然環境保全審議会（R5.3/17）の前までに各委員の了解を得ること。
生物多様性を取り巻く用語解説	・配置については県で検討すること。
生物多様性飛鳥地域戦略の紹介	・飛鳥地域戦略についても改定作業中のため、調整を図りつつコラムで紹介する。
生物多様性を表し方について	・生物多様性を表す3つのレベルは、(1)生態系の多様性、(2)種の多様性、(3)遺伝子の多様性とする。 ・種の多様性を示す写真は機能の多様性を示すため、食物連鎖の頂点（猛禽類）、生産者（植物）、分解者（キノコ）とすること。
生物多様性の危機について	・生物多様性の危機は、(1)開発や捕獲・採取による危機、(2)自然に対する働きかけの縮小による危機、(3)人間に持ち込まれたものによる危機、(4)地球温暖化による危機の4項目のままで良い。
本県の野生動植物について	・「奈良の魅力的な生き物たち」のタイトル、その中で紹介する種の考え方を再度整理すること。 ・植物及び菌類は紹介する種を増やす。
課題について	・ナラ枯れについてはコラムとして紹介する。 ・「奈良県のニホンジカ」の題名は「奈良のシカ」に変える。
目標について	・短期目標、中長期目標の詳細は素案から削除することとし、戦略本文を作成する際に検討すること。
行動計画の第2の目標「生物多様性の保全と再生」について	・小項目は、(1)重要地域の保全、(2)身近な自然環境の保全、(3)野生動植物の保護と管理とすることにより。 ・生物多様性保全の担い手の高齢化問題について、コラムで触れる。 ・ホットスポット等の新しい概念を紹介すること。

2. 議論「奈良県希少野生動植物ニセツクシアザミの取り扱いについて」

項目	概要
ニセツクシアザミの取り扱いについて	・ニセツクシアザミについては、個体の生育状況の変化により指定の必要がなくなったと認められるため、奈良県希少野生動植物の保護に関する条例第九条第八項の規定に基づき、指定解除とすることを了承する。